

令和6年 能登半島地震

中能登町復旧・復興プラン

～つながり復旧・復興～



『子どもたちが描く 未来につながる中能登町』 鹿西小学校5年生の作品

令和7年3月

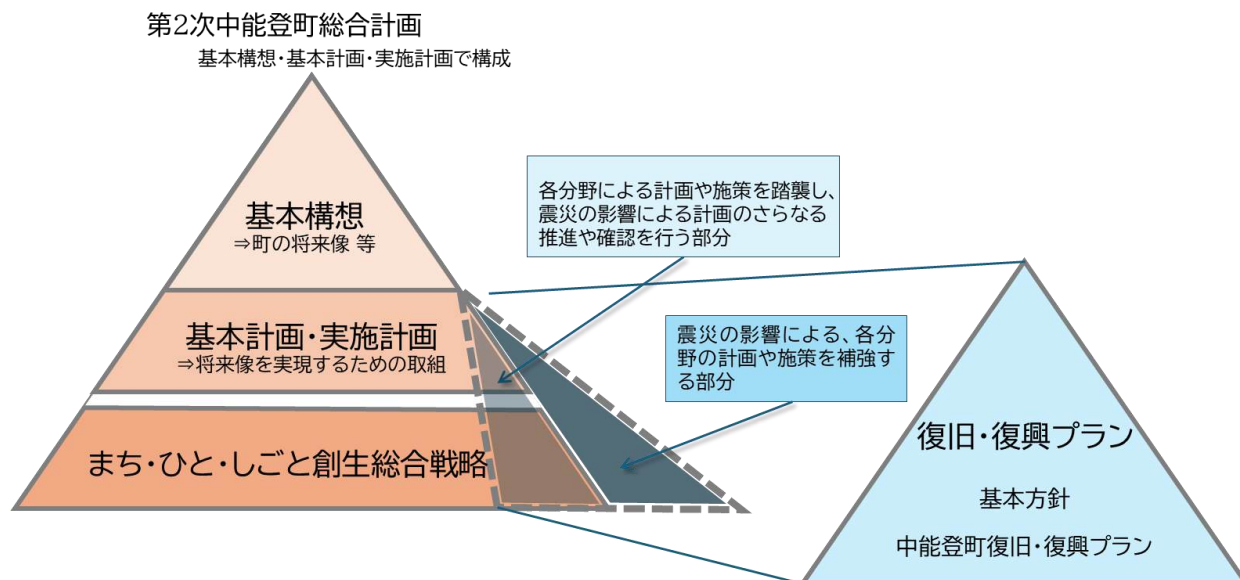


石川県中能登町

プラン策定の趣旨と位置付け

中能登町は、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震で、人的被害、住家被害の他、これまでに私たちが経験したことがない未曾有の被害を受けました。

中能登町復旧・復興プランは、町民が日常生活を取り戻し、ふたたび中能登町で安心して日常の暮らしと充実した日々を送るために、第2次中能登町総合計画を踏まえて策定するものです。



計画期間

復旧・復興を実現するまでの期間は9年間とします。

計画期間を『応急復旧期』、『復旧・復興再生期』、『復興発展期』の3期に分け、期間ごとに迅速かつ着実な取り組みを進めます。

応急復旧期	生活や産業の再開に不可欠な住宅、生活基盤施設、インフラ等を応急復旧する期間とします。
復旧・復興再生期	復旧されたインフラと町民の力を基に、震災前の活力を回復し、地域の価値を高める事業の展開期間とします。
復興発展期	新たな魅力と活力ある地域として生まれ変わり、地域を発展させる事業の展開期間とします。

令和6年度～令和14年度（2024～2032）								
R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
応急復旧期								
	復旧・復興再生期							
		復興発展期						



基本方針・基本理念

基本方針

町民が、互いに支え合い、強い絆で結ばれた中で、元の生活や暮らしができるよう、道路や上下水道の復旧と安定供給はもとより、住まいの自力再建に対する支援、仮設住宅の設置も含めて災害から、より豊かな日常生活の確保を目指します。

また、震災以前からの課題であった人口減少問題についても、拍車がかかりつつある現状を踏まえ、これまで紡いできた『つながり』を基本に新たな『つながり』を構築し復興を推し進めます。

この『つながり復興』を推し進めるためには、震災での課題の検証を行い、その課題を解決するため、『つながり』を活用した環境を整えていきます。



女性視点での復旧・復興(100人女子会)

基本理念

『つながり復興』を【集約】と【強じん化】で

今後、復旧・復興の取組みを進めていく上で ^{いしずえ} 礎となる基本理念として『つながり復興』を掲げます。また、取組全体を通した重要な考え方として【集約】と【強じん化】の2つを設定し、復旧・復興プラン全体の共通指針とします。

【集約】

つながり復興を進めていく上で基本となるコミュニティ形成のため、それぞれの取組みに必要な機能を集約し、強固なネットワークをつくることで、これまでのつながりに創造を加えた新しいつながりの活性化を図ります。

【強じん化】

復興を進めていく上で、単に元の状態に戻すのではなく、震災前より良いかたちに戻していくことで、震災に強だけでなく、豊かな生活が実感できる、まちづくりを進めていきます。



令和6年4月 能登部下区獅子舞 全国の警察支援部隊の皆様披露



鳥屋小学校児童による
「総合学習授業 防災」提案発表



中能登中学校生徒による
「総合学習授業」提案発表



石川県立鹿西高等学校生徒による
「総合的な探究の時間」提案発表

分野別の取組み

基本理念『つながり復興』を【集約】と【強じん化】で実現するため、下記3つの将来像を定め、取組みを進めていきます。

くらしの復旧・復興

被災者が生活を再建できるよう、心身のケアを図るとともに、住家や宅地の復旧支援に取り組めます。

地域のつながりを、より強固なものにするため、地域を担う人材の育成とコミュニティづくりに向けた支援を行います。

昨今の激甚化する大規模災害に備えるため、自主的な防災活動や災害の備えを推進し、子どもたちを含めた防災意識の高揚を図ります。

【具体的な取組み】

被災者の生活再建及び住宅や宅地の再建支援

- 被災者の生活再建支援
- 仮設住宅等の提供
- 住宅・宅地再建への支援

被災者の心身ケアの充実と福祉・保育・教育環境の整備

- 被災者の心身ケア
- 福祉・保育・教育環境の整備

地域を担う人材の育成と支援

- ボランティアなどの人材育成と確保

予防(事前)防災活動や災害備蓄の推進

- 初動・受援体制の強化、ノウハウと知見蓄積による防災力強化
- 食料や飲料水等の災害備蓄の推進

生きがいづくり支援

- 生きがいづくり支援

なりわいの復旧・復興

地震により大きな被害を受けた産業基盤を回復させるため、農業生産基盤や地域産業の再建を支援します。

町全体の経済活性化につなげるため、新たな産業の創業支援や企業誘致を推進します。

【具体的な取組み】

地域産業の再建支援及び企業誘致や創業支援の推進

- 地域産業の再建
- 企業誘致・創業支援
- 雇用人材の確保

農地や農業用施設等の生産基盤の復旧と農業の振興

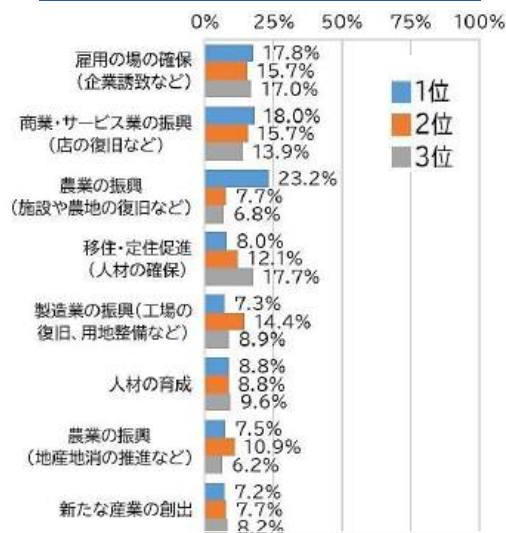
- 農業生産基盤の復旧
- 農業の振興

観光産業の創出

- 観光産業の創出

交流人口・つながり人口の拡大

- 交流人口・つながり人口の拡大



ふるさとの復旧・復興

地震により大きな被害を受けた公共施設をはじめ、道路や上下水道、河川等を復旧することで、生活基盤を戻すだけでなく、強じん化を推進します。

地域の防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりに取り組みます。

【具体的な取組み】

道路や上下水道等の社会資本や公共施設の復旧と強じん化

- インフラの復旧・強じん化
- 公共施設の復旧・強じん化

公共施設の復旧・強じん化

- 地域防災の見直し
- 地域防災拠点等の拡充

地域の防災力向上に向けた支援

- 自助・共助の推進、地域コミュニティ共助力向上事業
- 予防防災活動の推進

地区集会所復旧と強じん化及び自治防災組織の支援

- コミュニティ施設の復旧
- 自治組織の支援

(5)文化財や街並み等の復旧

- 文化財の復旧
- 中能登町らしさの復興・創造

「なりわいの復旧・復興」に重要な取組み(アンケート調査より)

リーディングプロジェクト

令和6年能登半島地震の災害から復旧し、さらに中能登町が発展を遂げていくために、能登半島の中央に位置し、交通利便性が高い中能登町の地域特性を生かし、復興に向けた取組みを先導し、他の取組みへの波及効果が期待できる施策をリーディングプロジェクト(先導的取組)とします。

道路の強じん化と機能強化

災害時の主要な避難路として、緊急車両等の円滑な通行や進行を可能にするよう狭隘部^{きょうあい}の拡幅と強じんな道路網整備を進めていきます。



鹿島バイパス

集落避難所の整備

高齢者が避難生活を過ごす上で、地区集会所等は、地域コミュニティの中で培われてきた安心できる場所として重要な役割を果たす可能性が高いことから、避難施設として位置付けます。設備や備蓄品等の強化など機能充実と地域自主防災組織体制の確立を進めていきます。

防災拠点の整備

道の駅「織姫の里なかのと」及び周辺エリアについては、町内のみならず、奥能登地域の防災拠点としての役割を強化するため、機能・設備面のさらなる充実を進めていきます。

さらに、車中泊避難者、ペット同伴避難者など多様な避難者のニーズに対応し、かつ、平時の利活用を考慮した機能性と空間利用を検討します。



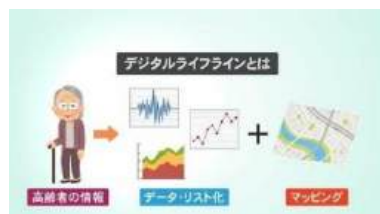
道の駅「織姫の里なかのと」

防災支援拠点の整備

防災拠点と集落避難所を連携・支援し、中能登町の地域防災を強化する防災支援拠点の整備と道路及び情報のネットワークを拡充していきます。

情報発信とデジタルライフラインの構築

災害時はもとより、平時から多様な媒体を活用した情報発信を展開し、タイムリーな情報提供によって安全で安心な行動や暮らしの**実現**を支援します。



デジタルを活用した様々な支援サービスにつながるデジタルライフラインの構築を目指します。

奥能登版デジタルライフライン
(石川県)

歴史的街並みの保全と活用

歴史的様式家屋や街並み景観を守り、加えて安心した暮らしを実現する取組みや、支援制度の創設等を検討します。



リーディングプロジェクト位置図

避難に関する方針

本プランでは、災害が発生した際、以下に示す2段階の避難方法で町民の安全を確保することとします。

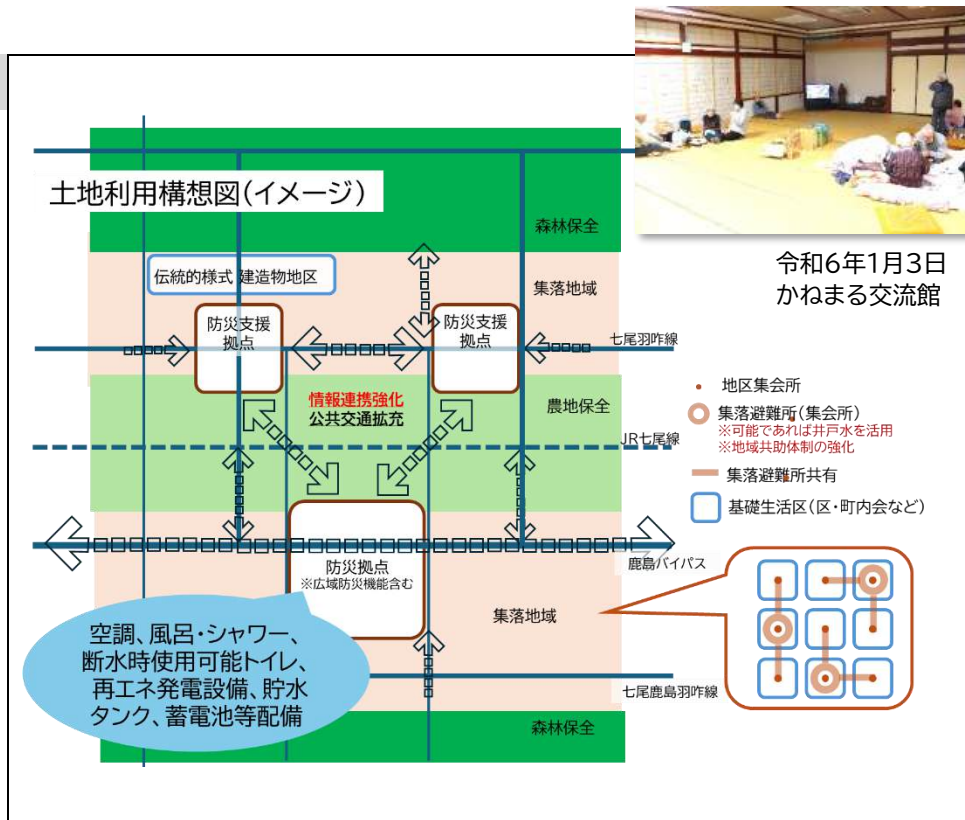
避難してきた町民が被災する危険性がなくなるまでの必要な期間滞在する一次(一時)避難、自宅に戻れなくなった町民の住まいが確保できるまでの期間滞在する二次避難を想定しています。

一次(一時)避難

一次(一時)避難とは、災害発生時に、町民の安全の確保を目的とした避難です。

緊急安全確保や避難指示など、避難を要する災害が発生した場合、直ちに避難する場所であり、安全が確保されています。

避難する場所は、お住まいの近くで避難所としての機能を備えた地区集会所(施設)と指定避難場所(大規模公園、大規模駐車場など)と指定避難所(地域防災計画に示す施設)となります。

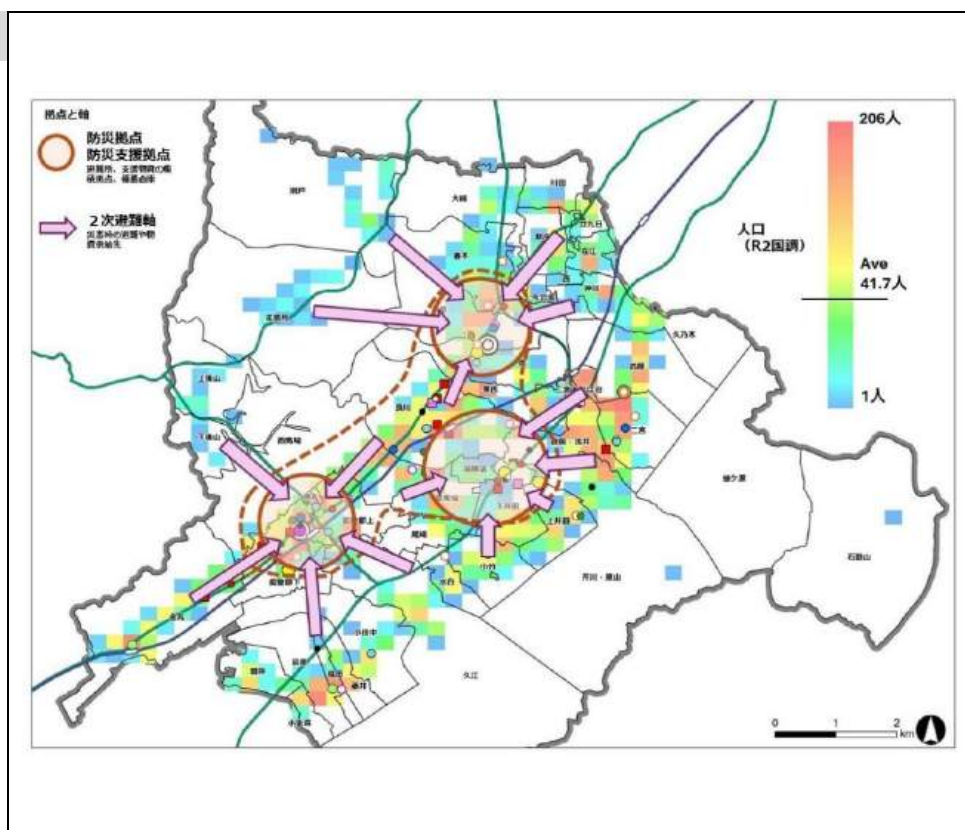


二次避難

二次避難とは、中長期的避難が必要な場合における生活の確保を目的とした避難です。

一次(一時)避難した後、十分な安全確認を経て二次避難へ移行します。

二次避難に対応した指定避難所を集約化することで、適正な人員配置が可能となり、避難所での安全な避難生活の確保が期待できます。



復旧・復興プラン策定に向けての取組み

中能登町復旧・復興プランは、多くの町民、企業、震災復興先進地の自治体職員の方々の協力を得ながら検討を進め、第15回中能登町能登半島地震復旧・復興本部会議(3月25日)にて策定しました。

【復旧・復興プラン策定までの取組み】

令和6年	6月27日 (木)	中能登町復興まちづくりニュース第1号発行(7号まで発行)
	6月28日 (金)～	中能登町復旧・復興プラン策定に関するアンケート調査実施
	7月 4日 (木)～	各種団体ヒアリング(7回開催)
	8月14日 (水)～	中能登町伝統的様式建造物所有者アンケート調査実施
	8月23日 (金)～	中能登町タウンミーティング(3回開催)
	9月30日 (月)～	中能登町復旧・復興地域懇談会(15回開催)
	10月31日 (木)	中能登町復旧・復興プランの中間とりまとめ公表
	11月 8日 (金)	鹿西小学校、鹿島小学校児童と町長、町議会議員とのまちづくり意見懇談会
	11月13日 (水)	第1回中能登町震災復旧・復興まちづくりアドバイザー会議(3回開催)
	11月27日 (水)	中能登中学校3年生による「総合学習授業」発表会
	12月17日 (火)～	「子どもたちが創造する新たな中能登町への声」アンケート実施
	12月26日 (水)～	中能登町復旧・復興プラン(案)に関するアンケート調査実施
令和7年	1月29日 (水)	石川県立鹿西高等学校「総合的な探究の時間」成果発表会
	2月 4日 (火)	鳥屋小学校フィールドリサーチ発表会
	3月 3日 (月)～	中能登町復旧・復興プラン(案)パブリックコメント

【タウンミーティング】



【子どもたちの創造する
つながり復興】
右上:鳥屋小学校
左下:鹿西小学校
右下:鹿島小学校



【地域懇談会】



中能登中学校
「総合学習事業」



石川県立鹿西高等学校
「総合的な探究の時間」



■震災の記憶

【建物の被害状況】



左 : 金丸地内 右上: 金丸地内
右下: 能登部下地内

【道路の被害状況】



左: 春木地内
中: 西馬場地内
右: 武部地内

【避難所】



【給水】



二宮地内

左: ゆうゆう
中: カルチャーセンター飛翔
右: 中能登中学校

中能登町能登半島地震復旧・復興本部

(中能登町総務課 震災復興対策室)

〒929-1692 石川県鹿島郡中能登町能登部下91部23番地